

研修報告書

坂田優美

新人議員研修全国キャラバンで、議員活動の極意を学ぶ研修を受けました。
私が受講した 12 月 14 日の広島会場では、元・廿日市市副市長 川本達志講師による盛りだくさんの講義で、いつもなら一つ一つが講義のテーマになる話をギュッと詰め込んで、中身の濃い内容をピンポイントでお話しして下さいました。
片時も目が離せないとても充実した時間でした。

以下の項目を昼休憩をはさんで、午前と午後に分けてお聞きしましたので、特に印象深かった部分をレポートにして報告します。

議員活動新人研修・1

10:00～12:30

- ・ 1 期目に絶対に注意して欲しいこと
- ・ セミナーで一番多い質問の共有
- ・ 職員からみた議員の見える方
- ・ 先輩議員に教えてもらおうとダメになる例
- ・ 基礎知識としての財政ポイント

議員活動新人研修・2

14:00～16:30

- ・ 相手を知り自分を知る～役所の仕組みと予算のスケジュール
- ・ 議会と議員が出来る事出来ないこと
- ・ 質疑や質問の組み立て方
- ・ 先進事例を自分の街で質問することの問題点
- ・ 過去 5000 人が聞いた役所を動かす質問の仕方の必須要件

一期目の議員の為の議員活動新人研修

◆ 一期目にやってほしいこと、注意して欲しい事

基本的なこと（本来の存在意義を自己認識すること）

* 首長は提案と執行に携わり、議員は対話と討論・調査・そして意思決定に携わる

市民の幸せな暮らし

議員は、討議と意思決定を役割とする代表機関（議会）の構成員であり、首長と同様に「住民福祉の増進」（地方自治法第 1 条の 2）と言う目的を実現するために、議会内で主に調査と意思表明を職務とする（非常勤特別職）公務員である。役所の外の人ではなく、行政の意思決定を担う行政の中の人。

◆ 議員と職員の関係

行政のプロとして基礎知識を身に着ける

既存の制度の修正・改善を要求・提案するためには、既存の制度の内容を根本から知ることが必要。職員は、議員は学習しないと高をくくっているから、制度が現状に即していない場合も、不都合なことは言わない。

* 政策は課長に聞く。既存制度の内容は（学習）は係長に聞こう。

【学習方法】

基礎知識は基本的には専門書を読むことから。しかし、理解することはなかなか難しい。『地方議員研究会』などのセミナーの活用をお勧めする。

* 全国市町村国際文化研修所（JIAM, 滋賀県大津市）は、地方議員研修会のセミナーを受講した後に参加すると効果的。というのも、講師陣は大学の教授等非常に優秀だが、内容は中級向き。一定の基礎知識をもって参加するとより理解が深まる。

◆ 基礎知識としての財政のポイント

予算がないとは？

使途が特定されず自由に使う事が出来る財源

一般財源がないということ。（地方税・地方交付税・地方消費税交付金）

- ・ 財政の弾力性が無い（収支のひっ迫）
- ・ 貯金が無い（備えがない）
- ・ 政策の優先順位が低い（必要性が低い）